

## 平成28年度 国語科部会新任教員研修会 報告書

実施日時 平成28年10月27日(木)

実施会場 浜松開誠館中学校・高等学校

参加者 国語科教員 28名

日程

- 9:30～受付開始
- 10:00～開会式(会場校挨拶・部会長挨拶・授業者挨拶)
- 10:50～研究授業①(開誠館中学1年A組 授業者:町田紗希先生)
- 11:50～12:30 講演会(浜松開誠館高校 近松貴史教頭)
- 13:25～研究授業②(開誠館高校1年H組 授業者:近松貴史教頭)
- 14:30～講評・反省会
- 15:30～アンケート記入
- 16:00 閉会・解散

以下、講評会での意見

- ・生徒達は最初緊張していたが、グループワークで活発な姿が見られた。このような研修の場で得たことを今後の課題にすることが重要。新任教諭はもし自分が生徒だったら今日の授業は受けたいと思えるかどうか、日々問いかけることが大切ではないか。
- ・生徒の挨拶・挙手の仕方が素晴らしかった。グループで絵を書いたりして問いかけに対する答えをまとめさせるスタイルが新鮮だった。私は生徒がテスト前に困らないノート作りに努めているが今日の板書はどうだったか。韻の確認に時間をかけすぎた。
- ・漢文はリズム。声を出して何度も読ませる必要がある。
- ・活発な生徒が目立った。授業内容についていけない生徒をどうするかも課題である。
- ・生徒が落ち着いていた。積極的な発言も目立った。小道具や資料などがあり良かったが、もっと説明を加えるとよかった。
- ・指名して現代語訳を発言させていたが、周りの生徒でまだ解けていない生徒がいた。
- ・振り返りシートを生徒に書かせていたのが良かった。
- ・生徒が未知の世界を知って感動・共感を得なければいけない。

### 【講演会について】

研修校先の教頭先生が講演をされるということで多くの先生方が興味津々で聴講していた。今後、どこの学校でも導入される「アクティブラーニング」についての講演会であったが、これから導入していくにもまだまだ課題が多く残されているように感じる。このように感じたのはおそらく私だけではないと思っているが、こうした研修や講演を通して、多くの学校・先生方の「アクティブラーニング」についての一助になれば幸いである。

報告者：副部会長 萩原広祐(東海大学附属静岡翔洋高等学校)